

日本共産党  
区議団の



# 5つの活動と提案

2

## 自然災害から命を守る — 気候危機打開は急務

- 地球温暖化緊急事態宣言を提案  
— 板橋区がゼロカーボンシティ宣言
  - ・省エネ機器購入助成事業の復活を
  - ・学校施設の再エネ化を
- 水害対策「一人ひとりの避難計画」づくり
  - ・垂直避難で都と区が協定
  - ・避難行動要支援者の「個別避難計画」を早期に

## 憲法 9 条を生かし平和をつなぐ 板橋区平和都市宣言を活かして



- ・核兵器禁止条約の批准を
- ・「中学生平和の旅」広島・長崎に加え、沖縄にも

5

## コロナを乗り越え、物価高騰から くらし応援・地域経済を元気に

1

- 保健所、検査、医療の体制強化を
  - 生活に困っている人への経済的支援の拡充を
  - 中小零細業者の暮らし・営業の応援を
- お金の心配のない医療・介護を
- 高すぎる国民健康保険料・介護保険料の引き下げを
  - 75 歳以上の医療費窓口負担の軽減を

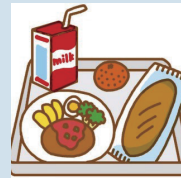
## すべての人に安心の住まいを

3

- 区営住宅の増設を
- 家賃助成制度の実施を
- 高齢者住宅「けやき苑」の廃止は見直しを

## 区立小中学校給食費の無償化を

- 学校給食は教育の一環。憲法 26 条「義務教育は無償」の実現へ。葛飾区が実施を表明
- ただちに少人数学級実現を
  - ・小学校全学年 35 人学級を早期に。さらに 30 人学級へ。
  - ・志村小と志四中の小中一貫校計画は見直しを
- 子どもの居場所を
  - ・児童館の小学生利用拡大を・公立保育園民営化ストップ



一人ひとりの  
子どもが尊重され  
輝く社会を

4

財源は 貯めてきた969億円の使い方を見直せば、子育て支援、医療や介護の負担軽減ができます!

## 子どもの医療費 18 歳まで無料化実現!

区民の切実な声にこたえて、「高校3年生までの医療費無料化」を提案しようと、区議会で共同の輪が広がりました、2019年には日本共産党など議員14名で、2020年には15名が共同して条例提案。板橋区議会では賛成少数で否決（右表・各党態度）されました。

こうした運動と世論の広がりの中で、2022年6月、東京都が「18歳までの医療費助成」（所得制限・一部自己負担有）を打ち出し、23区は足

並みそろえて所得制限も一部自己負担も設けずに2023年の4月から、ようやく実施となりました。

1987年3月に日本共産党区議団が「乳幼児医療費助成事業」の条例提案を行い、1994年1月に3歳未満まで所得制限付きでスタートして以来、運動と連携で提案し続けてきた成果です。

自民	公明	共産	民主ク	市民ク	無所属の会	N国	元自民
×	×	○	×	○	○	○	×

2020年第4回定例区議会の各党派の態度

こ やなぎ

# 小柳しげる

## プロフィール

1972年台東区浅草生まれ・都立忍岡高・法政大学経済学部卒。演劇を志し劇団で学ぶ。書店勤務時に日本共産党に入党。党都議団事務局員を経て、現在、党板橋地区委員会くらし・文化政策責任者。

## いのち・くらしを守る 住みつづけられる板橋を

かなざき文子区議から  
小柳しげるさんへ



8期32年のご支援ありがとうございます。

私の後継者・小柳しげる予定候補への倍のご支援を心からお願いいたします。

## ごあいさつ

私は、戦争する国作りを進める安倍政権の暴走を止めたいという思いで、日本共産党に入党しました。統一地方選挙で大軍拡と増税をおしすすめる岸田政権に審判を下すために、みなさまの大きなお力添えをお願いいたします。

私の両親は浅草で季節料理のお店を営んでいました。今日のコロナ禍と物価高のなかで苦労されている飲食店のみなさんの姿が店の運営に苦労していた両親と重なります。

私は、基金をため込み、大型開発に突き進む区政を、区民のいのちと暮らし、営業を守るまっとうな区政に変えるために全力を尽くします。